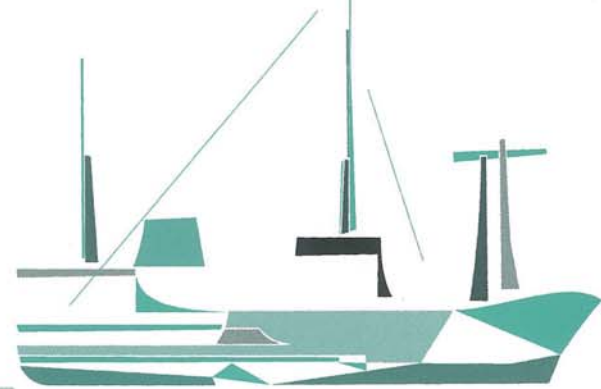
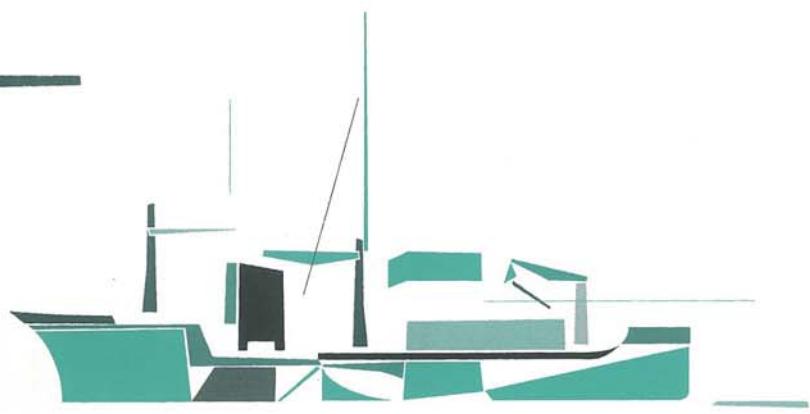


032

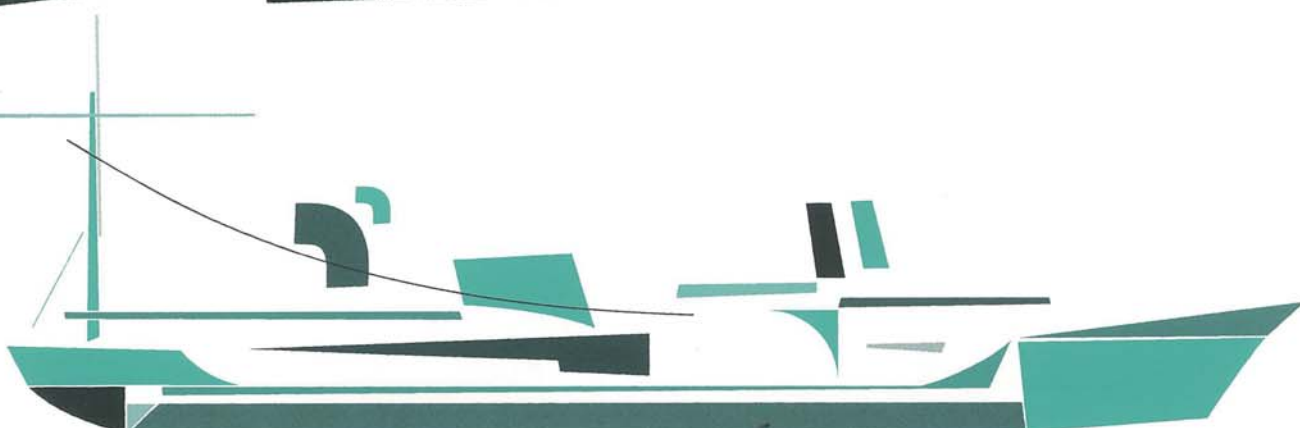
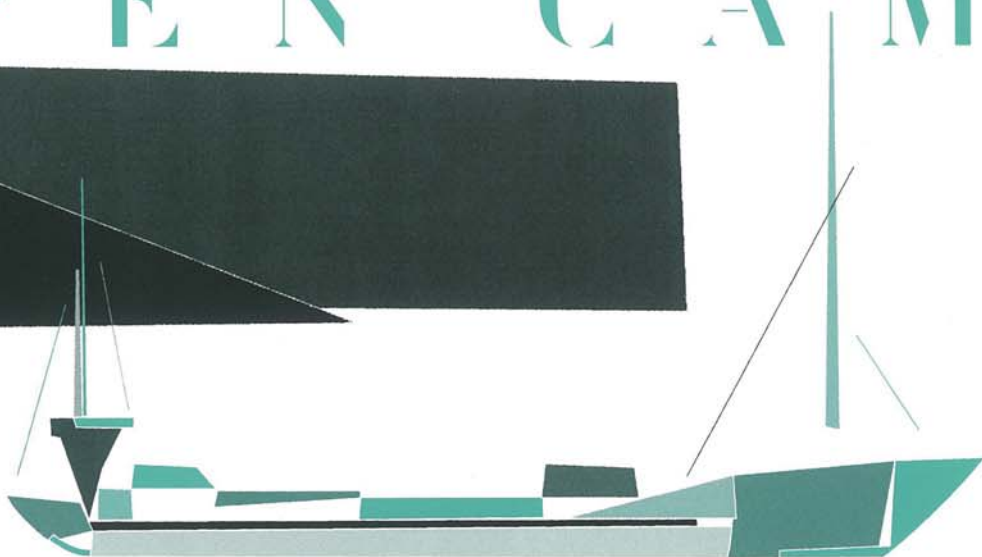
After Century

Art Campus

Photography
Cinema
Fine Arts
Music
Literary Arts
Theatre
Broadcasting
Design



OPEN CAMPUS



Photography

見て! 聞いて! 体験しよう! 写真学科

愉しく写真を感じてみよう。



写真学科

Cinema

映画を知ろう!

どんな学科なの? →【学科説明会】
 質問してみよう! →【進学相談コーナー】
 在学生の案内で... →【施設見学ツアー】
 コースのことをもっと知りたい →
 【映像表現・理論コースでは何を学ぶか】
 【作品上映会】(監督コース/撮影・録音コース/
 演技コースの実習作品を上映します)



映画学科

Fine Arts

まずは体験してみよう!

美術学科では絵画・版画・彫刻の実技体験とロダン以降のフランスを代表する彫刻家アリスティード・マイヨールについての紹介講義が行われます。今年新たに加わった体験授業は黄金背景テンペラ。全ての行程を踏んでいくと100時間近くかかりますが、今回は代用品を利用しながら気軽に体験できる方法で行います。卵を使った絵の具作り(テンペラ絵の具)も体験できます。西棟の7階、3階、地下でお待ちしています。



美術学科

Music

音楽と触れ合う
 まずは体感・
 そして実感



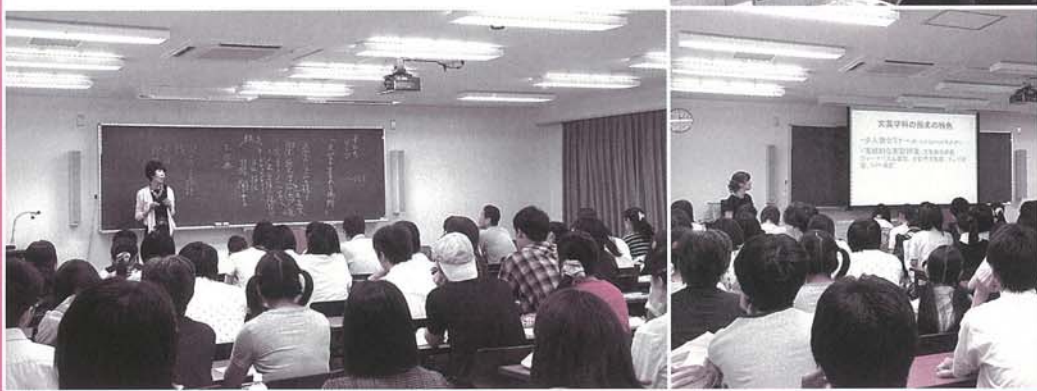
音楽学科

見つけよう、未来! ニチゲイのオープンキャンパス

Literary Arts

小説の書き方教えます。

編集の体験講座や、在校生による相談コーナーも!



文芸学科

演劇学科模擬授業・
 公開講座、全8コースで
 今、開幕!

〈劇作・演出・演技・装置・照明・
 日舞・洋舞・企画制作〉



演劇学科

Broadcasting

放送の基本。



放送学科

Design

デザイン学科のオープンキャンパス。

作品展示、デザイナーの特別授業そして相談会まで、
 さまざまな体験が出来るデザイン学科のオープンキャンパス。



デザイン学科



芸術学部8学科が 日藝の卒展 スペシャルウィークを初開催

卒業式直前の3月17日から23日までの7日間、江古田校舎を会場に、8つの学科の卒業成果物を同時期に発表する『日藝の卒展』スペシャルウィークを開催しました。この企画は、例年、卒業制作展、卒業公演、卒業上映会、雑誌発行など、各学科でそれぞれ行っている成果物発表会を、全学科が結集して行う初めての試みです。

芸術総合学部である日藝は、卒業成果物の姿も広がりが大きく、発表の形態も様々で、今回も全ての成果物を発表することは適いませんでした。とはいえ、日藝のキャッチフレーズ「8つのアート1つのハート」を感じてもらおうと、多くのスタッフや学生たちが力を合わせ、このスペシャルウィークを実現できたことは、喜ばしいことではないでしょうか。

当日は、各学科を回ってもらえるように、会場案内に併せてスタンプラリーを準備しました。高校生以下のみなさんに楽しんでもらえればと企画したのですが、来場されたご父母の方にも好評だったようで、今後も続けたいと思っています。

キックオフしたばかりで、運営面でも広報面でも、まだまだ不備なことはたくさんあります。しかし、だからこそ、この催しを成長させる伸び代は大きく、みなさんが積極的に参加していただければ、みなさんの知恵が結集すれば、我々が想像する以上のものになるかもしれないし、日藝にはその実力があると信じています。

チラシやポスターはデザイン学科、記録写真は写真学科のみなさんに協力してもらいました。当日の様子は、映画学科で撮影したものを、YouTubeの日藝チャンネル(NuartEDU)にアップしますので、どうぞご覧下さい。

映画学科教授 奥野邦利



芸術総合講座『広告企画実務』 第10回 ACジャパンCM学生賞 グランプリ、準グランプリはじめ 多数受賞の快挙!

江古田キャンパス、木曜の夜。いつもの授業よりちょっぴり遅く始まる芸術総合講座。8つの学科全てから広告に関心のある仲間たちが集まってくる。そこには広告界の第一線で活躍するプランナー、アートディレクター、フォトグラファーに作曲家、映画監督や映像作家、クリエイティブディレクター、はたまたプロデューサー、広告主、そしてデザイナーの重鎮からニコ動の社長様まで神様のような人たちが毎週、かわるがわるやってくる。『広告企画実務』という広告のアイデアやその実現の仕方、あるいはメディアとプロモーションの関係などをプロの実例から学ぶという意欲的プログラム。開講してはや10年になる授業だ。

この授業では授業の成果を生かして、さまざまな広告賞にも挑戦してきた。プロのみなさんに教わったノウハウを活用して自分たちの力を試すためだ。そんな広告賞の一つ、しかもかなりの難関が『ACジャパンCM学生賞』あの「A～C～」の学生コンクールだ。『広告企画実務』の開講以来毎回参加してきた。そして毎回、優秀賞、部門賞などに輝いてきた。一昨年は準グランプリも獲得。徐々に日藝のチカラを見せつけ始めていた。

3年ほど前からこの賞への応募を『広告企画実務』中心にしながらいデザイン学科の『プロモーションデザインI』放送学科の『コピー・コンテ実習』などにも拡大。よりパワーをこめて挑戦した。

そして3月。日藝チームがグランプリ、準グランプリBS民放賞、そして3位にあたる部門賞のうち表現技術賞と123フィニッシュを達成。さらに優秀賞2本の5チームが入賞するという快挙になった。

グランプリを獲得したのはデザイン学科『プロモーションデザインI』で、広告企画実務でも講師をつとめてくださる布目幹人先生の指導のもと作り上げた作品「誰かの一食」。審査委員長からは地球規模の食糧問題をとらえながら「地球」も「飢餓で苦しむ人々」も出てこない。ごく当たり前の平和で幸せな学食の日常風景だけで描かれたメッセージがすばらしいと絶賛を受けた。

グランプリと準グランプリの2作品はBS民放各社にて1年間放送されている。ぜひOAもチェックしてほしい。

放送学科教授 兼高聖雄

★グランプリ 「誰かの一食」

齋藤 凜、藍原 萌、中島涼香、高橋 弦人、岩河笑愛、塩谷明日美、武藤由莉、金山甲斗、長島かずな(以上デザイン)

○食べ残しをかき集めたらなんと定食一つが出来上がってしまい、ちょっとした食べ残しを考えさせる内容。



★準グランプリ BS民放賞 「1の大切さ」

江間結衣、荒谷穂波、渡辺睦未、本間那月、池田 亮、望月ちひろ、中木屋 峻(以上デザイン)

○「あと1つあったら～」というコピーのもと、選挙の投票の1票の大切さを訴える内容。

★優秀賞 「日本語ブス」

弓削田麗雅(映画)、間所珠世(演劇)、田中佑果(デザイン)、齋藤 凜(デザイン)、TJONG EKADDEVI(デザイン)、弓削田淳史(放送)、黒川 遼(音楽)、草刈 孝(写真)、栄 美紀(放送)、長尾舞夢(演劇)、角 健士(映画)

○授賞式で艶やかな装いの美人が口を開くと美しい日本語を使えず、現場が萎えてしまうということから、美しい日本語を使用しませんか?と問いかける内容。

★表現技術賞 「自転車ドミノ」

朝倉舞彩(映画)、金沢知枝(デザイン)、海野 萌(写真)、三橋飛鳥(放送)、喜多甲陽(演劇)、塩谷明日美(デザイン)、大橋靖弘(デザイン)

○自転車のドミノが1台倒れたことにより、どんどん隣のドミノが倒れていき、付近が危ない状態になるのを視覚的に訴える内容。

★優秀賞 「歩きスマホ、つづけますか？」

田中佑果、佐藤萌香、佐藤可奈子、吉野 新(以上デザイン)、山田聡美(音楽)

○歩きスマホでゲームをしている若者が災難にあうことによって、歩きスマホについて考えさせる内容。

▶今回受賞した学生たちに、野田学部長よりあらためてトロフィーと表彰状が授与された。



写真学科

●2014年JPS展にて会長賞・最優秀賞を受賞
第39回2014年JPS展(公益社団法人日本写真家協会)において、ヤングアイ17校参加の中、写真学科4年重松 駿さん・陳程さん組が最高賞会長賞を受賞しました。またU20部門でも写真学科2年高橋佳沙音さんが最優秀賞を受賞しました。
●気鋭学生写真展ニコンサロンにて開催
「出て来い新人3」日本大学芸術学部写真学科気鋭学生写真展として選抜された9名の学生による作品展が7月1日～7日、ニコンサロンbis 新宿で開催されます。
●平成25年度卒業・修了制作優秀作品展
平成25年度の卒業・修了制作の中から選ばれた10名の優秀作品が、江古田校舎東棟写真ギャラリーにおいて平成27年1月まで順次展示されます。是非お越しください。
●写真機材展開催
撮影機材を扱うメーカー・プロショップ(12社予定)が一室に集まり、学生・教職員に向けた機材展を7月16日・17日開催します。
●写真甲子園2014・東川フォトフェスタイベント
本年も8月4日～11日開催される「第21回全国高等学校写真選手権大会」及び「第30回東川町国際写真フェスティバル」に写真学科教員がサポート、撮影指導や作品レビューを行います。
●夏休み・休日開催ワークショップなど
夏休みや休日に開催される以下のワークショップや研修会に、写真学科の教員・スタッフが指導を行います。
○高校生のためのワークショップ
銀塩写真コース・デジタル写真コース
7月26日・27日 江古田校舎
○第38回全国高等学校総合文化祭 いばらぎ総文2014
写真部門の生徒交流会及び撮影会で写真学科の教員・スタッフがアドバイザーをします。
7月28日・29日
○埼玉県高等学校文化連盟写真専門部 初心者研修会
8月2日 所沢校舎
○埼玉県立芸術総合高等学校 学外学修
8月19日～22日 江古田校舎
○千葉県高等学校写真連盟写真専門部 生徒撮影研修会
9月28日 江古田校舎
●芸術資料館企画展
写真学科創立75周年記念写真展
「卒業生によるオリジナルプリント(仮題)」
10月28日～12月5日

映画学科

●受賞
○第12回 中之島映画祭
平成24年度卒業制作『チャリンコレクイエム』が第12回中之島映画祭でグランプリを受賞しました。
○JPPA AWARDS 2014
平成25年度の卒業制作、映画演出III・映画技術IIIで制作された作品が、JPPA AWARDS 2014の学生部門において、各賞を受賞しました。
●音響技術(ドラマ部門) ゴールド賞
卒業制作『紫陽花の喰べ方』 柳田耕佑
●映像技術(ドラマ部門) シルバー賞
映画演出III・映画技術III『迷い犬がひとり』 小林直毅
●映像技術(ドキュメンタリー・その他部門) ゴールド賞
卒業制作『さっさと、僕たちは』 持田彰子
●S.T.E.P. 開催
3月13日から16日まで、「大学連携による映画人育成のための上映会 S.T.E.P.」が新宿ミラノ3で開催されました。本上映会は、文化庁委託事業「平成25年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として、日本大学が制作しました。
全国映画教育協議会加盟の12大学から推薦された作品と、「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」の5作品を上映し、プロの映画人による講評を行いました。
●「ある過去の行方」試写会
4月15日に映画『ある過去の行方』日本大学芸術学部限定試写会を行いました。
上映後はラッパーでラジオパーソナリティのライムスター 宇多丸氏にご登壇いただき、トークイベントを行いました。イベントの様子は、映画公式サイトで紹介されています。
●学科特設サイトリニューアル
4月21日に、新しい映画学科特設サイトがオープンしました。学科ニュースの他に、各コースによる記事も公開しています。是非アクセスしてみてください。
URL: http://nuart-cinema.info/
●「WOOD JOB! ~神去なあな日常~」試写会
4月26日に映画『WOOD JOB! ~神去なあな日常~』の学生限定試写会を行いました。
上映後は、矢口史靖監督をお招きし、映画学科の学生による司会進行で質疑応答が行われました。



●日芸アワー放送中です
J:COMチャンネルにて、映画学科の卒業制作、卒業計画、映画演出III・映画技術III、映像IIIで制作された学生作品を

放送中です。詳しい放送時間は、J:COMチャンネル番組ガイドをご確認ください。
●Focus in 2014開催予定
昨年度の卒業制作と映画演出III・映画技術IIIで制作された作品を一挙に上映する上映会「FOCUS IN 2014」の開催が6月末に予定されています。
詳しい日時は、映画学科特設サイトをご覧ください。

美術学科

●各種展覧会のお知らせ
○笹井祐子展(准教授) 赤の声・青の音
6月13日～7月27日 9:30～17:00 星と森の詩美術館 入館料/一般500円、小・中200円(火曜休館)
○笹井祐子展(准教授)
7月5日～20日 ATELIER-KART SPACE(月曜休館)
○N+N展2014
「日藝」及び練馬区立美術館、双方の頭文字を冠した「N+N展」。今回は油彩画に焦点を絞った企画展です。「油絵の魅力 うつろい いる・かたち・マティエール」世代を超えて伝わるもの、この大いなるテーマに、この道の先達、中堅から若手まで本学部ゆかりある26人の作家が近作と初期の作品を併せて出品する大変興味深い展示となりました。「油絵の魅力」にあふれる50余点を是非ともご覧ください。
7月3日～13日 10:00～18:00
練馬美術館 観覧料無料(月曜休館)
出品作家
赤堀 尚、笠井誠一、星 守雄、小杉小二郎、酒井信義、櫻井孝美、佐藤泰生、大庭英治、吉岡正人、太田冬美、傍島幹司、竹原祥司、瀬島 匠、寺久保文宣、福島唯史、蛭子真理央、宮本 薫、三浦高宏、嶋村有里子、坪井麻衣子、石田淳一、渡辺有美、張 麗寧、高橋和正、股楽 俊、大山 智子(順不同、敬称略)
○富井大裕個展(助教)
8月20日～9月7日 Art Center Ongoing
http://www.ongoing.jp/ja/
○第6回 柳瀬荘アート教育プロジェクト
「アウエーゲームー茶碗に勝てるかー」(仮題)
10月9日～11月2日 柳瀬荘
彫刻コース教員・大学院・卒業生
http://nichigei-art.com
○「静物彫刻」
6月23日～7月5日 11:00～19:00
Galerie SOL(日曜休館、最終日17:00)
東京都中央区銀座1-5-2 西勢ビル6F
鞍掛純一教授が出品 講師の藤井 匡が企画
○新宿クリエイターズ・フェスタ2014 都市のユーモア展
8月22日～9月7日 新宿西口ゾーン
内山翔二郎(助手)
○第45回 講談社出版文化賞さしえ賞受賞
岡田航也(平成3年度卒)

音楽学科

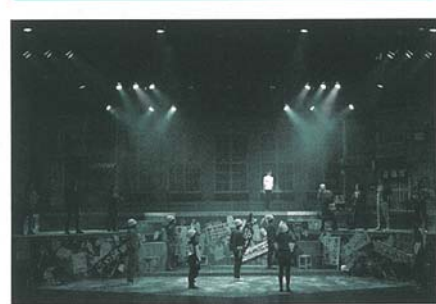
●演奏会のお知らせ
○サマーコンサート【ピアノ】
7月26日 音楽小ホール
○サマーコンサート【弦管打】
7月27日 音楽小ホール
○サマーコンサート【声楽・作曲】
7月28日 音楽小ホール
○第113回 定期演奏会(口定期)
10月15日 練馬文化センター・小ホール
○第114回 定期演奏会(コンチェルト定期)
10月20日 練馬文化センター・大ホール
○第45回 オペラ公演
11月5日 練馬文化センター・小ホール
○第42回 ファルティナーコンサート
11月8日 音楽小ホール
○第50回 室内楽の夕べ【弦管打】
11月13日 練馬文化センター・小ホール
○第26回 ウインドオーケストラ定期演奏会
11月18日 練馬文化センター・大ホール
○第43回 ピアノコンサート
11月21日 練馬文化センター・小ホール
○第115回 定期演奏会(12月定期)
12月1日 新宿文化センター・大ホール
○大学院修了演奏審査会【ピアノ・声楽・管楽】
12月17日 音楽小ホール
○卒業論文中間報告会【理論・音楽教育・情報音楽】
12月18日 場所未定
○第35回 新作室内楽の会【作曲】
12月19日 音楽小ホール

文芸学科

●稲葉真弓先生、しりあがり寿先生が紫綬褒章を受賞!
稲葉真弓先生、しりあがり寿先生が平成26年春の紫綬褒章を受賞しました。
紫綬褒章は学術、芸術、発明などの顕著な功績に対し、授与されます。
●永沼裕莉さんが第24回ゆきのまち幻想文学賞に入選しました!
文芸学科4年永沼裕莉さんが、小説「ひかりさす」で第24回ゆきのまち幻想文学賞長編部門に入選しました。永沼さんは昨年度の短編部門にも入選しており、2年連続の入選となりました。
●卒業生の小沼 理さんがマ・シェリミニエッセイ大賞を受賞しました!
生活情報誌マ・シェリ創刊20周年を記念して募集された

ミニエッセイ、テーマ「私の愛しい人」で平成25年度卒業の小沼 理さんが大賞マ・シェリ賞を受賞しました。
●卒業生の小林リズムさんが、本を出版しました!
平成24年度卒業の小林リズムさんが、(株)泰文堂より『どこにでもいる普通の女子大生が新卒入社した会社で地獄を見てたつた8日』で評めた話』を出版しました。
●第13回 江古田文学賞募集!
(締切:2014年8月31日(当日消印有効))
江古田文学では、清新な小説と文芸評論を募集しています。大学の枠を超えて一般の方も対象に含めた文学賞ですので、新しい文学を志す方の挑戦をお待ちしています。
※「江古田文学」は文芸学科に編集委員を置く文芸雑誌です。応募規定の詳細は文芸学科ホームページでご確認ください。

演劇学科



今年度も演劇学科主催の公演が始まります。昨年より1公演増え、年間で14公演上演致します。江古田・所沢の両校舎へぜひ足を運んでください。
7月から10月までの公演は下記の通りです。
●総合実習II B(洋舞)
「Dance Performance—パレエによる創作表現—」
創舞指導:堀 登
7月4・5日 江古田校舎北棟・中ホール
●総合実習IV(演劇)
「父さんの恋人(仮)」 学生創作
7月10日～12日 江古田校舎北棟・小ホール
●卒業制作(日舞)中間発表
作品未定/創舞指導:花柳昌太郎
7月19日 江古田校舎北棟・中ホール
●舞台総合実習VD(洋舞)
「Dance Performance—自由課題による創作表現—」
創舞指導:范 旅
8月1・2日 江古田校舎北棟・小ホール
●総合実習IA(演劇)
「Animal Farm—ジョージ・オーウェルの「動物農場」による—(仮)」 演出:山下 悟
10月9日～11日 所沢校舎アートセンター・ブラックボックス
●総合実習III B(洋舞)
「Dance Performance—ロンド・カノン形式による創作表現—」 創舞指導:松永雅彦
10月17・18日 江古田校舎北棟・中ホール
●総合実習III A(演劇)
作品未定/演出:佐藤正文
10月23～25日 江古田校舎北棟・中ホール
※観劇にはご予約が必要です。詳しくは学科ホームページをご覧ください。http://www.theatre.art.nihon-u.ac.jp/

放送学科

●川内有緒さんが新田次郎文学賞受賞
ノンフィクション作家の川内有緒(平成6年度卒)さんが、『パウロを探して』で第33回新田次郎文学賞を受賞しました。この作品は、アジア最貧国のバングラデシュを旅して、古くからベンガル地方を流浪する人々が歌い継いできた「パウロの歌」の真実に迫った12日間の記録です。
川内さんは、本学卒業後、米国の大学で修士号を取得し、コンサルティング会社やシンクタンクに勤務する傍ら、少数民族や辺境の地を訪ねた旅の記録を発表。フリーランスとなった2010年には、パリにいつのまにか住み着いた日本人10人の軌跡を描いた『パリでメシを食う。』でも高く評価されています。
●神田京子さんが真打昇進
講談師の神田京子(平成11年度卒・本名:本田尚子)さんは、本学4年次に在学中に二代目神田山陽に入門し、平成17年に二ツ目昇進。そして今年、めでたく真打に昇進しました。
4月27日に開かれた昇進披露会見では、神田さんが上京するきっかけだったという憧れのアナウンサー・近藤サト(放送学科特任教授)さんが司会を務め、本学映画学科卒業の毒蝋三太夫さんが祝辞を述べました。

デザイン学科

●高校生向けの夏期講習会を開催します。
8月4日・5日に江古田校舎デザイン棟にて高校生2年、3年向けの夏期講習会を開催します。デザインのモノの見方や考え方をデザインやプレゼンテーションを通して専任教員が指導致します。詳細はデザイン学科HPにて。
●所沢市内循環バスのラッピングデザインをデザイン学科の学生が担当
所沢市からの依頼を受けて、学生が所沢市内を循環するバスラッピングをデザインしました。デザインを担当したのは、下関 碧さん、福田 彩さん(デザイン学科3年)。所沢市のキャラクターである「ところん」を使って市のブランドを巧く表現。採用されました。
●JPCAデザインアワードで学生が多数受賞。
一般社団法人日本電子回路工業会が主催するJPCA showのメインビジュアルを決めるコンペティション「JPCAデザインアワード」があり、本学科から多数の受賞者が出ました。
○準グランプリ 下関 碧

○優秀賞 土屋真子、金 志原
○奨励賞 出水友美子(すべてデザイン学科3年)
●「デザイン学科優秀作品展」を開催
6月9日～26日の期間 授業課題や卒業制作を展示した作品展がA&Dギャラリーで開催されました。普段のデザイン学科の授業内容が分かるものとなっており、見応えのある展示となりました。
●展覧会開催のお知らせ
○「After-meet with KM & KM teachers & Silkscreen」展
6月30日～7月13日 A&Dギャラリー
皆川孝一(技術員)、熊田綾菜(卒業生) 出品
○「デザイン学科助手展」
9月20日～10月5日 A&Dギャラリー
本学科助手による作品展

College Administration Office

【事務局からのお知らせ】
●平成26年度 授業日程
前期補講期間 7月14日(月)～19日(土)
※補講の実施を必要としない科目については、休講とする。
中間試験・前期A試験 7月21日(月)～26日(土)まで(授業内試験)
※中間試験実施該当科目は外国語科目を主とする。なお、試験を実施しない科目は平常通り授業を行う。
※海の日にあたる7月21日は授業内試験とする。
※前期試験実施該当科目は前期のみで授業を終了する科目とする。なお、試験を実施しない科目及びB試験該当科目は平常通り授業を行う。
前期B試験 7月28日(月)～31日(木)まで
※所定の試験時間割にて試験を実施し、平常授業は行わない。
夏期休暇 8月1日(金)～9月20日(土)まで
前期追・再試験 9月18日(木)・19日(金)
※前期追・再試験は前期終了科目の内、不合格となった卒業見込者のみを対象に行う。なお、平常授業は行わない。
後期授業開始 9月22日(月)
日本大学創立記念日 10月4日(土)(休校)
学部祭準備のため休講 10月31日(金)
芸術学部祭 11月1日(土)・2日(日)・3日(月)
於: 江古田校舎(1日は休講)

●芸術資料館企画展開催日程
「まる型ロボットの源流展」
6月17日(火)～7月25日(金)(6月29日(日)オープンキャンパス、7月21日(月・祝)開館)
第41回 演劇資料展
「日本初のオデット型 貝谷八子オリジナル・パレエ衣裳展」
9月24日(水)～10月23日(木)
(10月4日(土)創立記念日のため休館)
写真学科創立75周年記念写真展
「卒業生によるオリジナルプリント」
10月28日(火)～12月5日(金)
※10月31日(金)～11月4日(火)学部祭期間[含準備・後片付]、11月24日(月・祝)開館

●夏季休暇中の事務取扱いについて
夏季休暇中(8月1日(金)～9月20日(土))の事務取扱いは以下のとおりとなりますのでご注意ください。
○事務取扱時間 月～金 10:00～16:00
○事務取扱休止日 夏季休暇期間中の土曜日、8月7日(木)～17日(日)
※諸行事の都合で変更となる場合がありますので、掲示等で確認してください。

編集後記

昨年4月より広報委員に就任し、今回初めてArt Campusの編集後記の執筆を依頼された。本紙は、本年6月29日に開催されるオープンキャンパスで配布される予定であるが、この紙面が皆さんの手元に届く頃にはもう2014年が半分以上過ぎ去ってしまっているかと、日付を確認して驚いた。時が経つのは本当に早い。先日、ソチオリンピック・パラリンピックが開催され、多くの日本人選手が活躍したことには感動していたが、それからもう4ヶ月も経過しているのである。国内では4月から消費税が5%から8%に引き上げられ、群馬県の富岡製糸場が閉れて世界遺産に登録されるなど様々な変化があった。世界に目を向ければ、ナイジェリアで女子中学生が誘拐され、韓国的大型船が沈没事故を起こし、タイでは軍事クーデターが起き、ウクライナ情勢は未だに不安定である。しかし、これらのことも気を抜いて生活していると、あっという間に過去のことになってしまう。さて、今回で32号となる本紙は、芸術学部8学科のニュースを始め、ユニークかつ学生にとっても興味深い内容の記事が掲載される。私が見た記事を見て感じたのは、芸術学部は縦にも横にもつながっている学部である、ということである。他の大学などではこのような広報紙はみられないのではないかと、このような広報紙が32号も続き、さらに今後も続いていく、そんな学部を築き上げていることに、学生たちには誇りを持ってもらいたいものである。

編集委員 加藤弘一
●発行:日本大学芸術学部 ●発行責任者:野田慶人
●編集:広報委員会/委員長:佐藤洋二郎/副委員長:中町綾子/編集委員:浅井 譲/野村建太/鞍掛純一/土野研治/上坪裕介/丸茂祐佳/金 龍郎/笠井則幸/高久 聡/ジュリアン・マニング/加藤弘一/樋口 肇/秋山和則/石川達郎 ●ACロゴデザイン:中島安貴輝 ●デザイン:井原靖章 ●印刷:(株)タスプ/箭内民生 発行2014.6